

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	◆学ぶ理由・学び方 「やる気の源泉」が習慣を変える／凡事徹底とは何か(20分)／学習がづらいのは「やり方を知らない」から／「心の本音」がやる気を育てる ／自己成長はどうしたら実感できるの？／やる気より、「感覚」と「仕組み」に頼る					
【前期】 9～13回目	◆自己理解 心と向き合い、感情を整理する習慣／自ら動いてもっとワクワク働こう／やりたいことを見つけるセルフコーチング／内省 キャリアの方向性を考える					
【前期】 14～19回目	◆さまざまな学び 「ほめ上手」と「ゴマすり」って何が違う？／NLPを知ってポジティブになろう／本気で変わりたい人の行動イノベーション					
【後期】 20～24回目	◆さまざまな思考 自己肯定感と自己効力感の違いって？／負の感情を前に進む力に変える／なぜポジティブのほうが目標達成しやすいのか？					
【後期】 25～33回目	◆リーダー・チーム 「集合知性」がチームでの成果をつくる鍵／内向型リーダーの強みを発揮するヒント／個人と組織のパフォーマンスを最大限に引き出す方法					
【後期】 34～38回目	◆まとめ・振り返り 「観・在り方」主導のキャリア／チャンスをつかみ取る人の習慣／ブレない自分をつくる7つの問い／先送りをなくす未来の自分デザイン					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション・レーベルワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	プロダクション・レーベルワーク	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。					
授業概要						
マネージャーやファンクラブおよびレコード会社業務の基礎と、サブスクリプションサービス等最新の業界動向について学ぶ。						
到達目標						
マネージャーやファンクラブスタッフおよびレーベルスタッフとしての基本的な業務知識、業界用語の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	授業概要説明/音楽業界の仕事について/プロダクションとレコード会社の違い					
【前期】 4～9回目	プロダクション: マネジメント業務内容/ライブ制作/プロモーション、イベンター、ライブ制作					
【前期】 10～17回目	レコード会社: 制作/宣伝/営業・販売促進について、音楽出版社: 業務内容/タイアップ関連					
【後期】 18～20回目	ファンクラブ: 業務内容、マーチャンダイズ、レコーディング					
【後期】 21～23回目	ライブ制作、テクニカルの仕事、権利関係					
【後期】 24～30回目	アーティストプロフィール作成～1年間のまとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライブ・イベント制作講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ライブ・イベント制作講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ライブハウス店長として店舗運営のノウハウを取得。同店舗にてライブハウス業務に加え映像部門を立ち上げ、現在はライブハウスプロデューサーという立場から運営に携わっている。 またイベント制作、ホールイベントの舞台監督、所属アーティストのA&R業務などを経験している。					
授業概要						
ライブイベントを制作するために必要な基礎業務を具体的に学ぶ。						
到達目標						
ライブイベントの運営方法を学び、ライブハウス規模でのイベントを自分たちで企画・運営できる知識と技術を身につける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	イベントの流れを知る：イベントとは？制作とは運営とは？/音楽イベントの種類/会場の種類/公演概要・テーマ・コンセプト/予算/チケット販売/当日の運営/物販/配信/プロモーションについて/プレスリリースを書いてみよう					
【前期】 6～16回目	会場のレンタル方法/会場・各セクションとのコミュニケーション/アーティスト・出演者のブッキングのやり方考え方 架空イベント制作の計画：コンセプトとターゲット・タイトル・公演概要/タイムテーブル・プレスリリース作り					
【前期】 17～27回目	企画イベント制作の計画：イベントのコンセプト立て/コンセプト・テーマの絞り込み/イベントの方向性をまとめる/アーティスト選定～ブッキング/装飾案/会場確認/グランドスケジュール確定/予算案/公演概要/ロゴ案/フライヤー案					
【後期】 28～38回目	企画イベント制作の計画：広告・宣伝方法/ブッキング/プロモーションについて/イベント詳細タイムテーブル作り～各セクションへの共有					
【後期】 39～49回目	企画イベント制作の計画：イベントの準備/プロモーション作業/テクニカルやアーティストとの情報共有/最終準備					
【後期】 50～60回目	企画イベントの実施/反省会/会計報告作成/報告書作成/授業まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	分野別ワークⅠ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	分野別ワークⅠ		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース/アーティストスタッフコース/企画制作コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	都内ライブハウスにて一般業務に加え、ステージ転換・照明オペレート等に従事する他、機材メンテナンスやフライヤー制作も担当。アーティスト対応や事前調整により円滑な進行に貢献し、重要公演の照明や主催イベントの制作を担当。					
授業概要						
音楽イベントの基礎知識(職種・舞台用語・機材・資料読解)を学び、パミリや転換などの基本技能を習得する。 実践的な転換・設営の練習を通して、総合的なイベント・現場対応力能力を養う。						
到達目標						
音楽イベントの流れや職種を理解し、舞台・機材に関する基礎知識を身につけるとともに、セット図や各種資料を読み取り作成できる力を養う。 パミリや転換作業を安全かつ的確に行い、状況に応じた柔軟な対応を通して、ステージ運営に必要な実務を遂行できる能力を習得する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～6回目	音楽業界・イベント構成における職種解説／イベントの1日の流れ・各セクションの動き／舞台用語					
【前期】 7～12回目	通常バンドセットの楽器の種類／ハの字巻き練習／アンプの種類／パミリ:立ち位置、アンプ、モニターのパミリ セット図、セットリスト:セット図の見方、必要な情報、セットリストの必要性					
【前期】 13～15回目	転換／パミリ、アンプ入れ替え／ライブ資料の読み解き・資料チェック／タイムテーブル作成において音響照明のポイント 楽器備品:マイクスタンド、箱馬etcステージで使う備品に関して					
【後期】 16～20回目	バンドセットの転換練習:通常、Key有無、SEQ有無、お立ち台有無、Drセット移動有無					
【後期】 21～25回目	バンドセットの転換練習:通常、Key有無、SEQ有無、お立ち台有無、Drセット移動有無					
【後期】 26～30回目	照明練習、転換練習／授業まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PC実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	PC実習		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/レコーディングコース/PA&レコーディングコース/音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。					
授業概要						
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて						
到達目標						
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	iMacの電源の入れ方 各種アカウントの設定 Macの基本操作の確認					
【前期】 5～8回目	【Word】 Wordの使用方法 タイピング練習を兼ねた文字入力					
【前期】 9～12回目	【Excel】 簡単な計算 タイムテーブル作成					
【前期】 13～16回目	【イラストレーター導入】 基本ツールの説明 図形描画、色付け、最前面、最背面					
【後期】 17～20回目	【ペンツール】 直線を描く/スムーズポイント/コーナーポイント 直線から曲線への変化					
【後期】 21～24回目	・パスの修正の仕方 ・整列設定(等間隔)・回転、移動等 ・ペンツール総合問題					
【後期】 25～28回目	Excelによる計算法 Excelによる精算書作成					
【後期】 29～30回目	課題提出 1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	クリエイティブPC I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	クリエイティブPC I	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(単60位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	グラフィックデザイン・イラストレーション分野で40年以上の実務経験。大学在学中に「京都デザイン展」グランプリ市長賞を受賞。出版・情報デザインを中心に活動し、デジタルコンテンツにも展開。玄光社『イラストレーションファイル』に20年以上掲載。デザイン系専門学校にて非常勤講師を20年以上担当している。					
授業概要						
基本的なデザインの考え方およびIllustrator、Photoshopの基礎的な操作について学ぶ。						
到達目標						
フライヤーやホームページ制作に必要とされる基礎的なデザイン知識や技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	Macの基本操作／ログイン方法／タイピング練習／アプリの説明／Illustrator、Photoshopについて					
【前期】 4～9回目	Illustratorの基礎：必要なツール／基本操作／図形制作／描画練習／ロゴ制作・文字の変形・表示／印刷物の基礎・DMの作り方 Photoshopの基礎：必要なツール／基本操作／写真加工・画像合成・写真補正 文字の入力					
【前期】 10～17回目	Illustrator&Photoshopの応用：名刺デザイン・印刷物制作・発注の仕方／グッズ制作・ロゴ・タイプフェイスデザインによるオリジナルTシャツ／印刷発注の方法					
【後期】 18～20回目	Illustrator&Photoshopの応用：写真集を作る・テーマと編集を考える／素材を集め加工／しまうま出版にて発注					
【後期】 21～23回目	Illustrator&Photoshopの応用：インディーズバンドのDVDケースを制作 素材集め・イメージ制作／素材加工・版下制作／IllustratorでMAP制作／印刷完成					
【後期】 24～30回目	Googleサイトでポートフォリオ制作：Webサイト構築／基本知識と基本操作／簡単なモックを制作／Googleサイトで制作					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	PA基礎実習		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。					
授業概要						
ステージ・コンソールの仕込み、回線チェックの仕方を学ぶ。						
到達目標						
コンサート・ライブに於ける音響および楽器知識と技術の習得。 マイキング、音作りの理解、バンドの対バン形式での転換のノウハウ習得。イベントでPAを担当できる技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～2回目	授業について、PAシステムや機材説明、電源の入れ方消し方、テスターの使い方 マイク・DIの種類と特徴、取り扱い方と注意事項／トークバックのレベルの取り方とメインスピーカーのチェックの仕方／マイクスタンドの立て方とマイクの取り付け方、8の字巻きについて					
【前期】 3～6回目	ステージ上のインプットの仕方(回線表の見方、項目の説明)、回線チェック／ステージ上のセッティング(インプットのみ)／電源立ち上げ～トークバックレベル取り～メインスピーカーチェック～インプット仕込み～回線チェック					
【前期】 7～12回目	モニタースピーカーの設置の仕方、繋ぎ方、チェック方法／回線表を元にセッティング&チェック、ステージ上のセッティングとメインスピーカーから出る音のバランスとり／授業内ライブ実施					
【後期】 13～18回目	ドラム周り・ベース・ギター・その他のマイキング 授業内ライブ実習に向けての事前授業～本番、ここまでの復習					
【後期】 19～24回目	ドラム周り・ベース・ギター・その他の音作り、バランス取りなど、サウンドチェック方法					
【後期】 25～30回目	「ライブ・イベント制作実習」イベント本番に向けての確認授業、1年間の総復習					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	照明基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	照明基礎実習		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	都内ライブハウスにて一般業務に加え、ステージ転換・照明オペレート等に従事する他、機材メンテナンスやフライヤー制作も担当。アーティスト対応や事前調整により円滑な進行に貢献し、重要公演の照明や主催イベントの制作を担当。					
授業概要						
ホール常設機材を使用した照明オペレートの実践。企画イベント実施に向けた準備。 照明について必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのセッティングとオペレートを学ぶ。						
到達目標						
ライブハウスで照明業務を行う為の基本的な機材の扱い方、コンサート・ライブに於ける照明技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～2回目	ホール資料・用語一覧配布～解説／機材紹介：各ホールの機材収納場所・機材・用語について アクセサリの付け方・言葉に対して色のイメージを考える・色を覚える／譜割りの方法・読み方					
【前期】 3～6回目	ピン説明、Cue出し練習／ピン練習：Cueに合わせてピン／譜割練習					
【前期】 7～12回目	9号館ホールの仕込み説明：電源立ち上げ方、基本仕込み説明、ピン練習、調光卓の、卓のオペ操作、ピン練習					
【後期】 13～18回目	9号館ホールの仕込み説明：脚立/仕込み練習 MI別館ホールの仕込み説明：脚立/仕込み練習/安全講習					
【後期】 19～24回目	9号館ホールの仕込み説明：仕込み、シュート練習(脚立)、ピン卓練習 MI別館ホールの仕込み説明：仕込み、シュート練習(Footと脚立)、ピン卓練習					
【後期】 25～30回目	「ライブ・イベント制作実習」イベント本番に向けての確認授業、1年間の総復習					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	レコーディング基礎実習	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	商業用レコーディングスタジオに就職し、様々なアーティストのレコーディングに携わった後、フリーランスとして活躍。レコーディングエンジニアとして音楽だけでなく、ナレーション、アフレコ等、多岐に渡る仕事に携わっている。					
授業概要						
必要となる機材の名称・役割・操作方法、簡易的なシステムでのレコーディングからミックスまで学ぶ。						
到達目標						
レコーディング現場に於ける音響技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	Recスタジオの使い方と注意／Recスタジオの信号の流れ、セッティング、PT操作などVoRecまでのロードマップ解説 スタジオ電源入れ切りの練習／Voマイクセッティング、スタンドの名前／					
【前期】 4～9回目	VoレコーディングにおけるPatch、マルチバス、Protools、リバーブ、録音、プレイリスト／信号の流れ、ProToolsの起動とSessionの中身の解説／音量感、リバーブ、マイクレベルとラインレベル／マイクチェック／Patch、マルチバス、IO、bus の設定練習					
【前期】 10～17回目	カラオケ音源の取り込み方□インレベル、Patchの場所、ステレオトラック／Counterの書き方、分秒と小節拍 簡易Voレコーディング実施(Counterを書く、リバーブの量設定)／学生同士でワンコーラスレコーディング実施					
【後期】 18～20回目	Drのセッティングの見本、Amp・キャビのセッティングの見本、DI解説 マルチマイクのマイクチェック:回線チェックとマイキングの違いについて					
【後期】 21～23回目	Dr.マイキング、ゲイン取りの基本 Clickの作り方、セッション作成／簡易Drレコーディング／Editとは、Editに必要なモードツール／DrのEdit					
【後期】 24～30回目	授業まとめ DrRecについて／GtRecについて／VoRecについて					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	映像基礎実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	映像基礎実習	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。				
授業概要					
映像編集ソフトを用いた編集の基礎を学び、ページックな作品を制作する。					
到達目標					
撮影機材の取扱いや編集ソフトの使い方の基礎技術の習得。独力で簡単な作品の編集が可能な技術の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～2回目	データ管理、映像制作について。Premiere基礎：UIの説明、基本編集操作。動画制作実習①：イメージ動画作成。				
【前期】 3～6回目	Premiere基礎：ショートカット、エフェクト、キーフレーム、書き出し。動画制作実習②：トレーラームービーの制作。				
【前期】 7～12回目	撮影の初歩技術：画角の基本。撮影時の注意事項。カメラ設定。カメラワーク練習。動画制作実習③：自己紹介動画の制作。				
【後期】 13～18回目	動画制作実習③：自己紹介動画の制作。				
【後期】 19～24回目	カメラ実習：配信可能な状態にまでセッティングし、実際音に合わせてカメラワーク、スイッチングワークを練習する。				
【後期】 25～30回目	動画制作実習④：クラス制作：テーマに沿った動画をグループで制作する。 「音楽スタッフ実習」と連動した企画ライブの撮影～編集。				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					